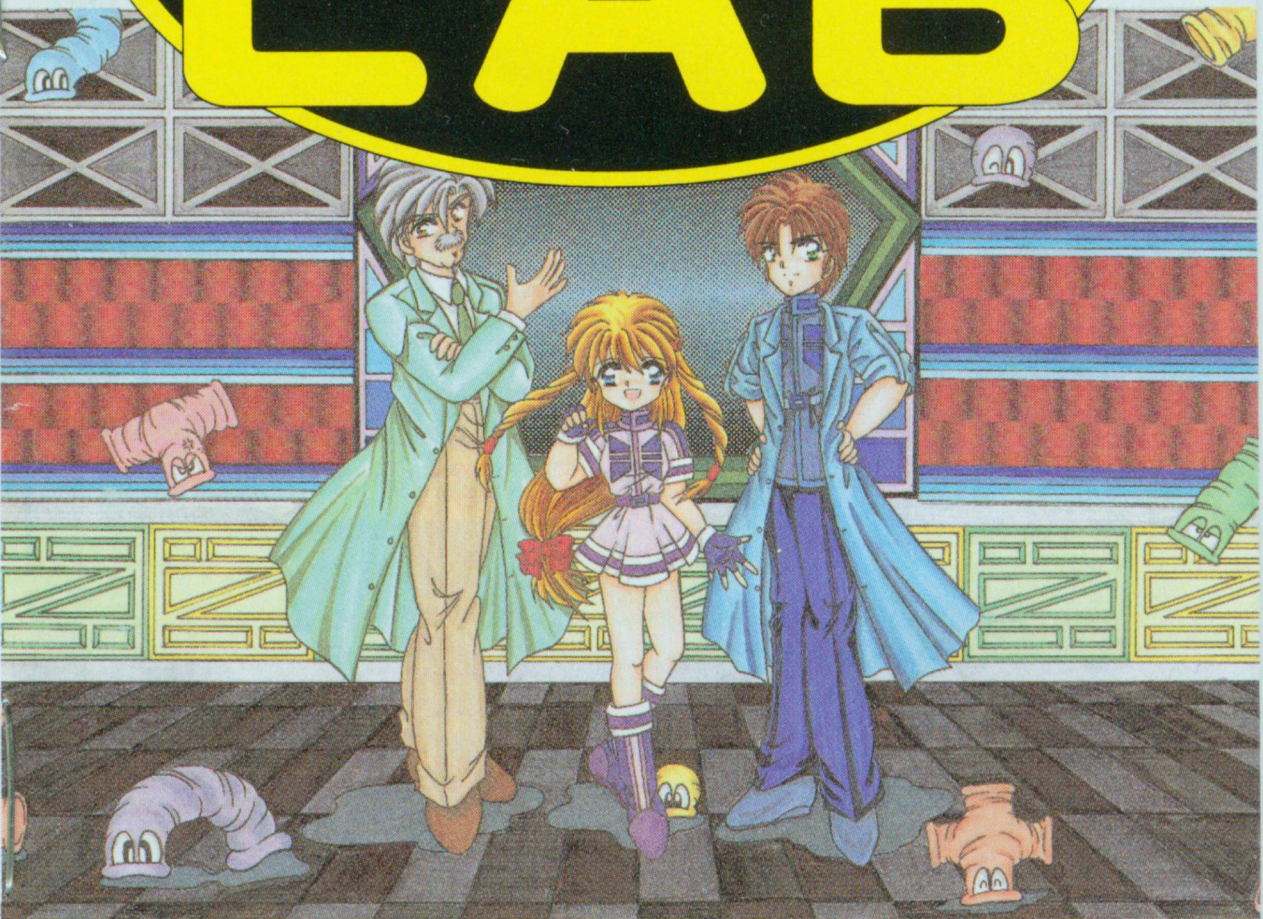


VIRTUAL LAB



とりあつかいせつめいしょ

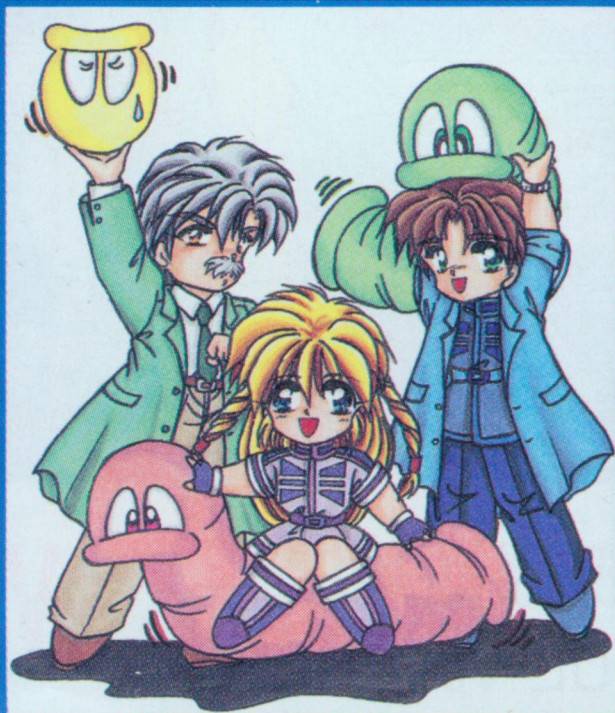
取扱説明書

VUE-VJVJ-JPN

VIRTUAL BOY™

しょうじょう ちゅうい
使用上のご注意

このたびは、(株)J・ウイングのバーチャルボー
イ専用カートリッジ『バーチャルラボ』をお買
い上げ頂き、誠にありがとうございました。まず
はじめに別冊の「注意書」をお読みいただき、次
にこの「取扱説明書」の指示に従い、各調整をお
こなったうえ、正しい使用方法でご愛用くださ
い。なお、「注意書」およびこの「取扱説明書」
は大切に保管してください。



CONTENTS

ゲームを始める前に	4
ストーリー	8
キャラクター紹介	12
ゲームの目的	14
設定画面	16
操作方法	20
パネルの消し方	22



ゲームを始める前に

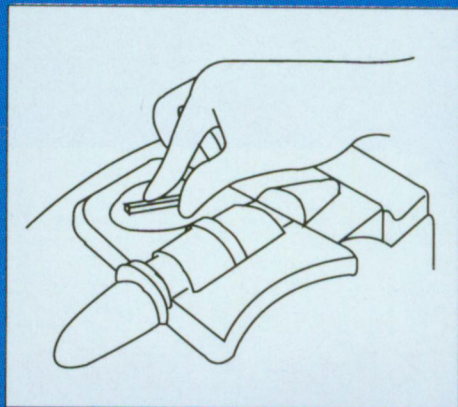
ゲームをスタートする前に、次のような調整をおこなってください。

バーチャルボーイ本体に、カートリッジを正しくセットしてください。カートリッジをセットした後、コントローラーの前面にある電源スイッチをONにすると、しばらくして下の画面が現れます。

IMPORTANT :
READ INSTRUCTION AND
PRECAUTION BOOKLETS
BEFORE OPERATING

じゅうよう：
ゲームをはじめるまえに、ちゅういしょ
およびとりあつかいせつめいしょを、
かならずよんでください。

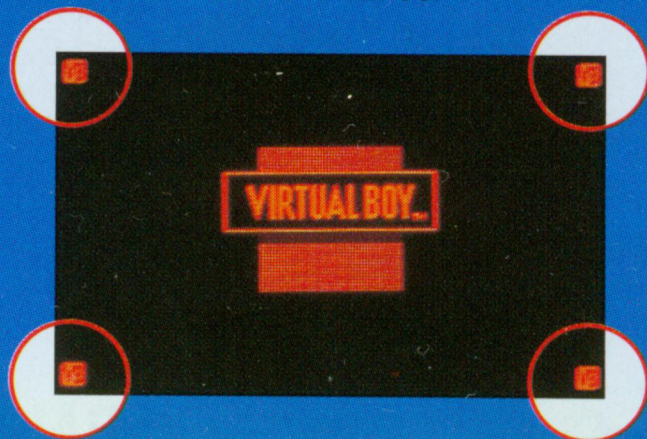
STARTボタンを押すと「目の幅調整画面」に切り替わります。目の幅調整とは、プレイヤーの左目と右目の幅に、バーチャルボーイ内部の表示装置を合わせる調整です。



調整画面を見ながら、本体上部にある「目の幅調整ダイヤル」をまわし、画面の4すみにあるマークが見える状態に合わせてください。

(3つが見えていれば、ゲームに支障はありません。)

このように4すみのマークが見えるように調整してください。



その他の調整については、バーチャルボーイ本体のとりあつかいせつめいしょをお取扱説明書をお読みください。

オートマティックポーズ機能^{きのう}について

バーチャルボーイ^{せんよう}専用カートリッジには、プレイヤーの目の健康^{め けんこう}を守るため、適度^{まも}な時間^{てきど}に休止^{じかん}する「オートマティックポーズ機能^{きのう}」があります。

「目の幅調整画面^{め はちょうせいがめん}」で調整^{ちょうせい}を終えた後^お、STARTボタン^{あと}を押すと下の画面^{お した}に切り替わります。^{がめん}

L十字ボタン^{じゅうじ}左右^{さゆう}で、「オートマティックポーズ機能^{きのう}」のON/OFF^{えら}が選べます。

機能^{きのう}のどちらか^{えら}を選んだ後^{あと}、再び^{ふたた}STARTボタン^おを押すと、ゲームのタイトル画面^{がめん}が現われます。^{あら}

OPTION

AUTOMATIC

PAUSE

ON

OFF

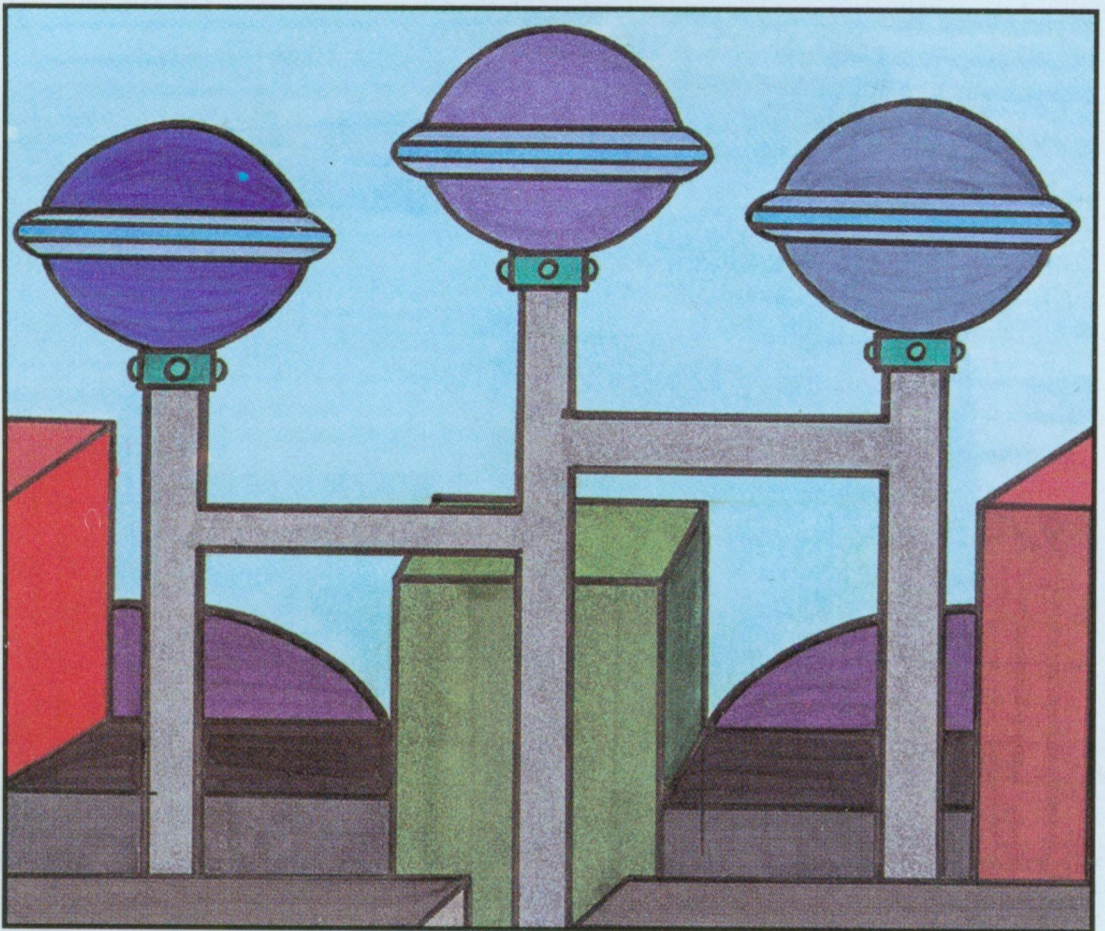
ONを選^{えら}んだ場^ば合^{あい}、各^{かく}ス^{しゅ}テ^うー^りジ^{ょう}の終^{しゅ}了^う時^じにオ^おー^トマ^まテ^てィ^いツ^つク^くポ^ポー^ーズ^ず機^き能^{のう}が働^{はた}ら^らい^いて、ポ^ポー^ーズ^ず状^{じょう}態^{たい}に^にな^なり^りま^ます。適^て度^どの休^{きゅう}息^{そく}を^をと^とっ^って、目^めや体^{からだ}を休^{やす}め^めて^てく^くだ^ださ^さい。

START ボ^おタ^たン^んを^を押^おす^すと、ゲ^げー^ーム^むを^を再^{さい}開^{かい}でき^きま^ます。

STORY

せいれき ねん ちきゅう ほどとお わくせい
西暦2095年、地球に程遠い惑星マリン・ブルーにコス
モステーションが創られた。

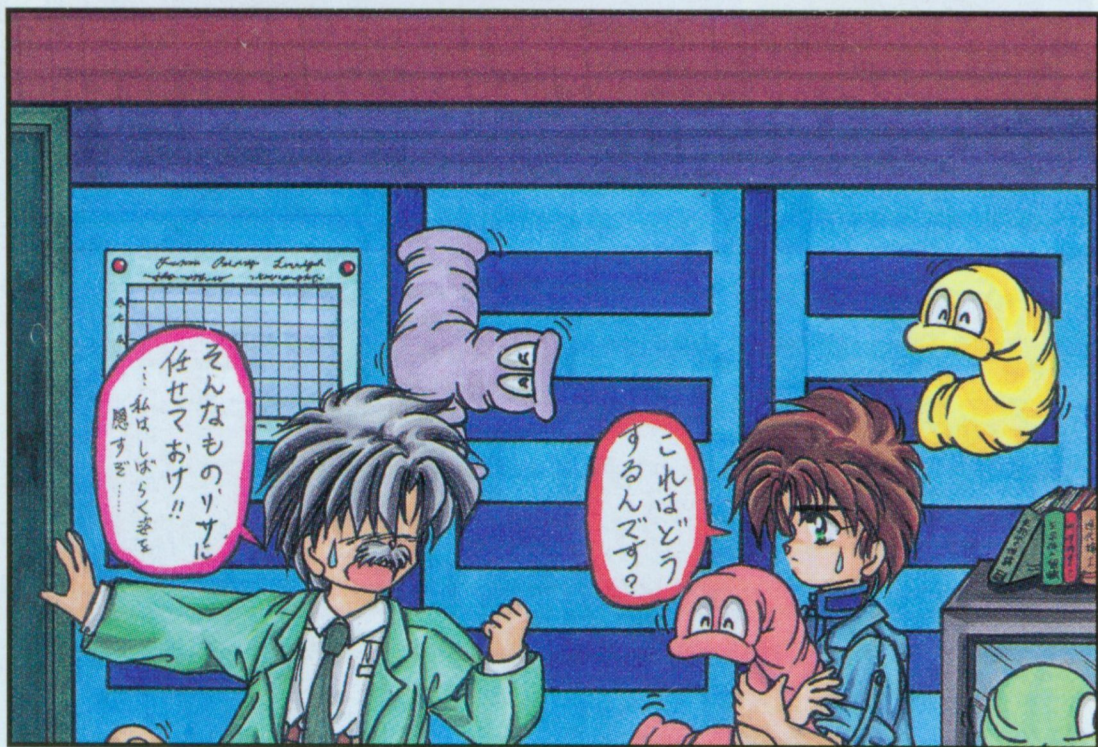
ない うちゅうかいはつ おお
ステーション内には、宇宙開発センターがおかれ、多
かがくしゃたち あつ さまざま けんきゅう おこな
くの科学者達が集まり、様々な研究が行われていた。そ
なか の中のひとつ、バーチャル・ラボ研究所では所長でもあ
かたぎりはかせ きゅうきょくせいぶつ せいたい しら
る、片桐博士が究極生物“ミュウ”の生態を調べていた。

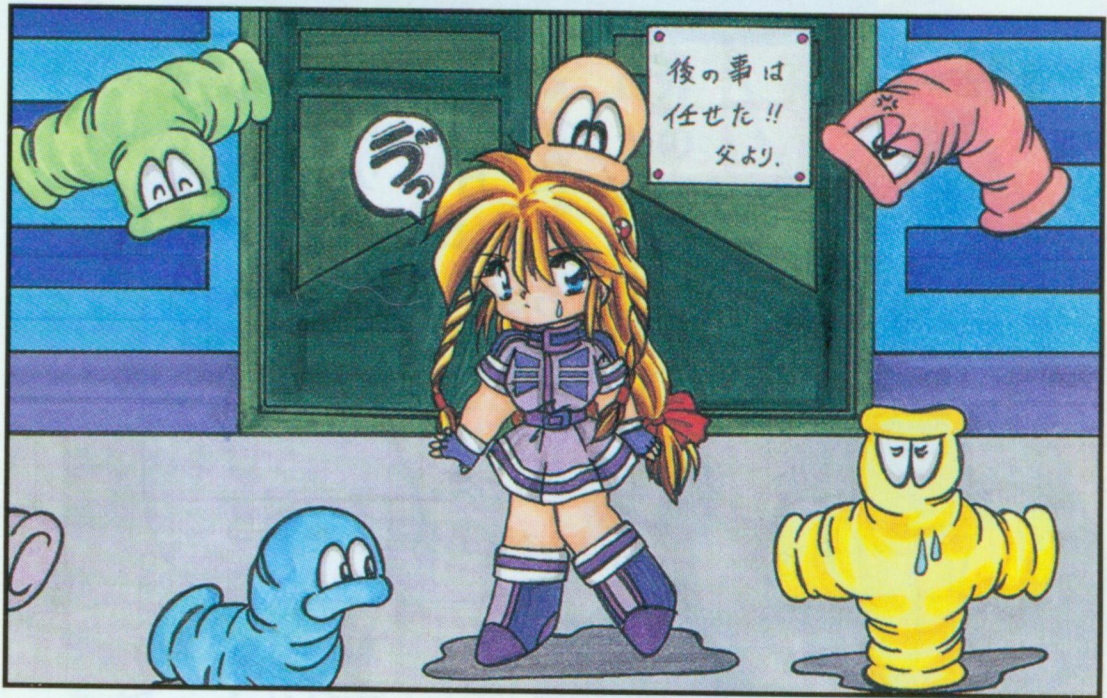




「ふっふっふっ…この生物の重大な発見を今度の
 研究学会の席で発表すれば、さらに私の名前が高められ
 るぞ。」すっかり気を良くして、自室で仮眠を取っていた
 博士のところに助手である甲斐ケンが慌てた様子で次
 の事を告げた。「片桐博士、大変です!! 非常事態が発生
 しました!!」急いで特別研究室までかけつけた2人が見
 たものは室温自動調整器の故障で、室内温度上昇の為、
 増殖反応をおこした“ミュウ”の姿だった。

「げげっ、…これはやばい!!^{こと がっかい}こんな事が学会のメンバーに知られたら、^{わたし なまえ ぎす}私の名前に傷がつく。……^{かいくん}甲斐君、この事は誰にもいってはならんぞ。^{わたし}私はしばらく隠れておるからな。」^{じょうぎよう}「そ、そんな…この状況はどうするんです?」「そんなものリサにでも任せておけ。^{まか}もう、授業が終わるころだろうからな。」^{はかせ}そういって博士はドアから出ていってしまった。^{はかせ}「そういうわけにはいきませんよ、博士!!」^{すがた み}すでに姿の見えなくなった博士の後を追って^{はかせ あと お}甲斐も部屋を出ていった。

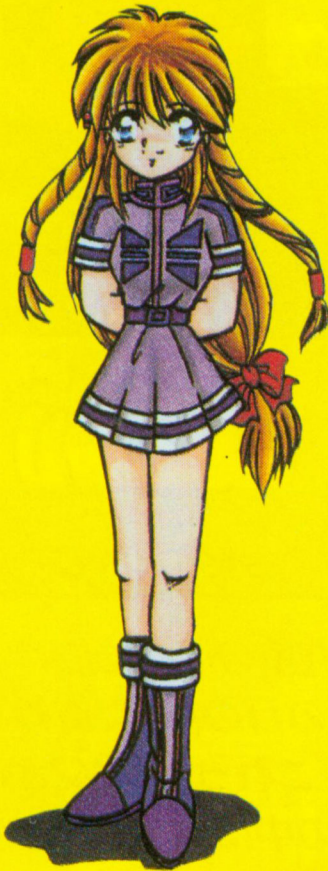




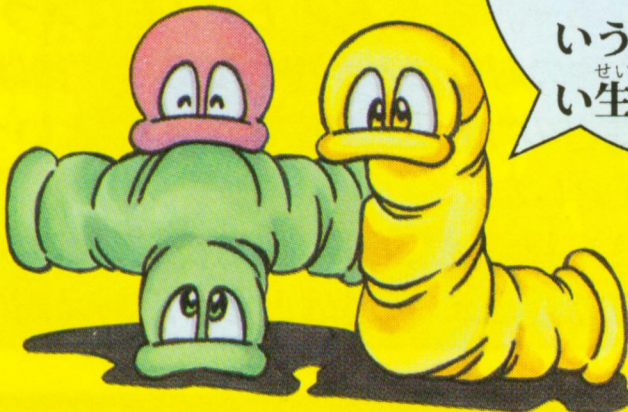
「な～にこれ…。」^{わたし}私がいつものように^{けんきゅうしつ}研究室のドアを開けると、そこはいつもと^{ちが}違う^{こうけい}光景だった。^{わたし}私の目の前で、^あ奇妙な^{せいぶつ}生物が^{へや}部屋中を覆いつくしていたのだ。「これって、^{おとう}お父さんの^{けんきゅう}研究していた生物じゃないの～。部屋の中にいないところを見ると逃げたなあー。」ふと、机の上のメモに気づいた。この^{じょうきょう}状況の原因と^{せいぶつ}生物の^{たいしよほう}対処法とが書いてある。“後は宜しく”と^{ちち}父の^{でんごん}伝言と^{かいくん}甲斐君の^{はかせ}“博士を探してきます”というメモを手に、^{わたし}私の体は硬直した。

「もう～、^{おとう}おとうさん見つけたら^{たち}タダじゃすまないからね!!」そんな私の目の前で、『^{ミュウ}ミュウ』達は^ふどんどん^{つづ}増え続けていった。

キャラクター紹介 しょうかい



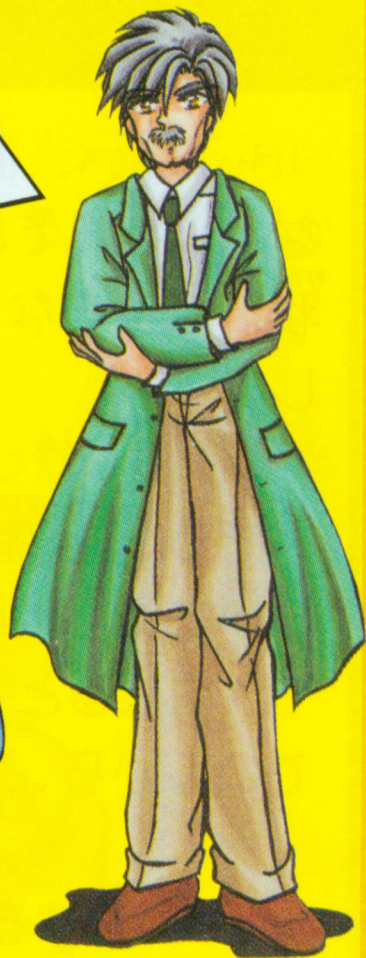
わたし 私、かたぎり 片桐 さい リサ 13 歳。
せいかく 性格は明あかるくて、
ちょーつとき気が強つよいつ
てとこかな。
いちおう 一応このゲームの主人 しゅじん
公こうだよ。
(はかせ スタン博士 むすめ の娘)



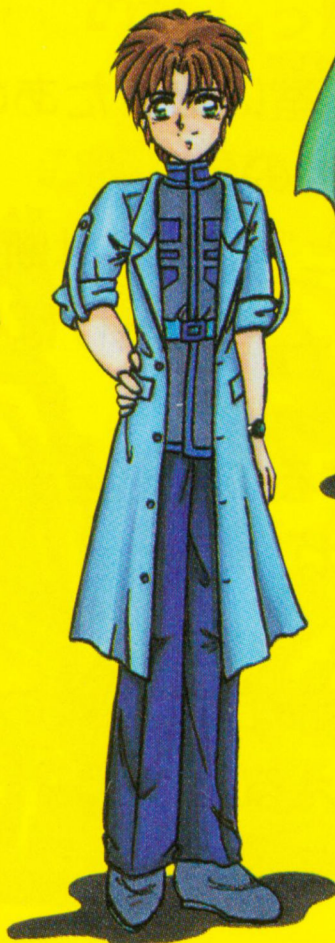
ミュー、ミュ
ミュー ミュ〜。
やく (訳：僕達、ぼくたち 原生動 げんせいどう
ぶつ 物で「ミュー」と
いうんだ。なぞ 謎の多 おお
い生物せいぶつだよん。)

わたし かたぎり さい
ふっ私は片桐スタン35歳だ。
けんきょうじょ しょちょう つと じぶん
研究所の所長も勤めておる。自分
で言うのもなんだが、なかなかの
きもの
切れ者だぞ。

(でも性格はいいかげん：娘談) せいかく むすめだん



はじめまして。
かい もう
甲斐ケンと申しま
す。年は18歳で
す。年のわりには
よくしっかりして
いると言われます。
げんざい かたぎりはかせ
現在片桐博士の
じょしゅ
助手をしています。



ゲームの目的^{もくてき}

…まったく、お父さん^{とう}の無責任^{むせきにん}さにもまいる
なあ…なんてあきれてる^{ばあい}場合^{ばあい}じゃなあ～い!!
私^{わたし}にはやらなきゃならない^{こと}事^{こと}がいっぱいある
し。

…そう、研究室^{けんきゅうしつ}にあったあのメモに^{しよりほうほう}処理方法^{しよりほうほう}が
書^かいてあったの。

それによると“ミュウ”は断片^{だんぺん}にある^{あな}穴^{あな}で呼吸^{こきゅう}し
ているから、これを^{ふさ}塞^{ふさ}げばいい…とのこと。

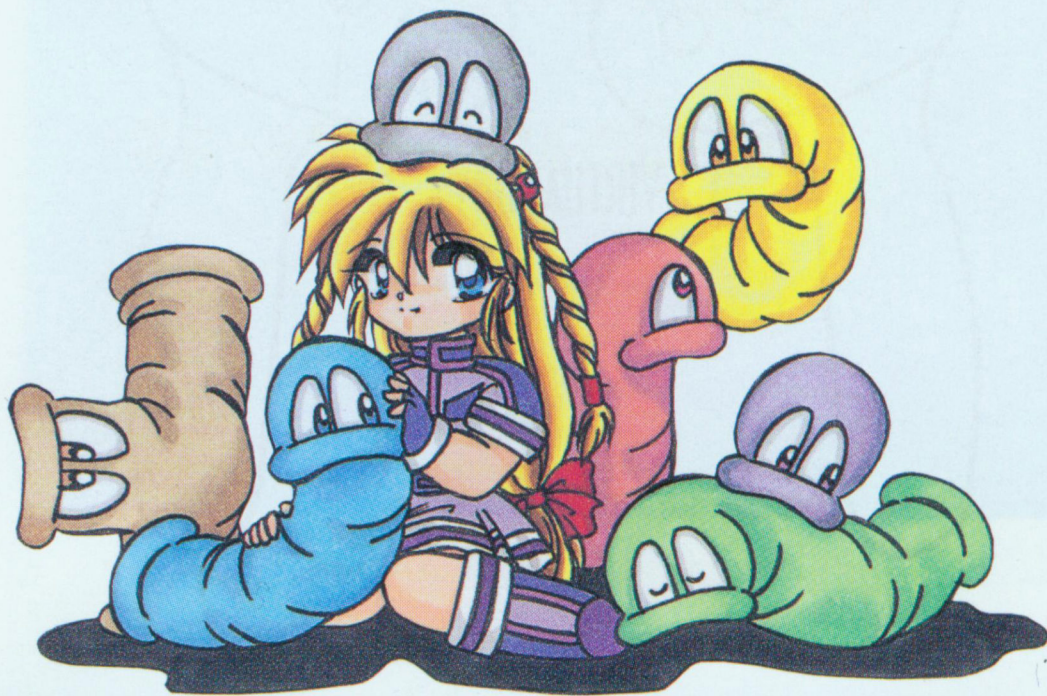
うーん、要^{よう}するに口^{くち}を全部^{ぜんぶ}塞^{ふさ}いで窒息^{ちっそくし}死^しさせれ
ばいいんだね。

“ミュウ”は死^しぬと空気^{くうきちゆう}中の^{こうそ}酸素^{こうそ}によって^{からだ}体^{からだ}が溶^と
かされて消^きえるそうだ…って、これは別^{べつ}にどう
でもいいかな。

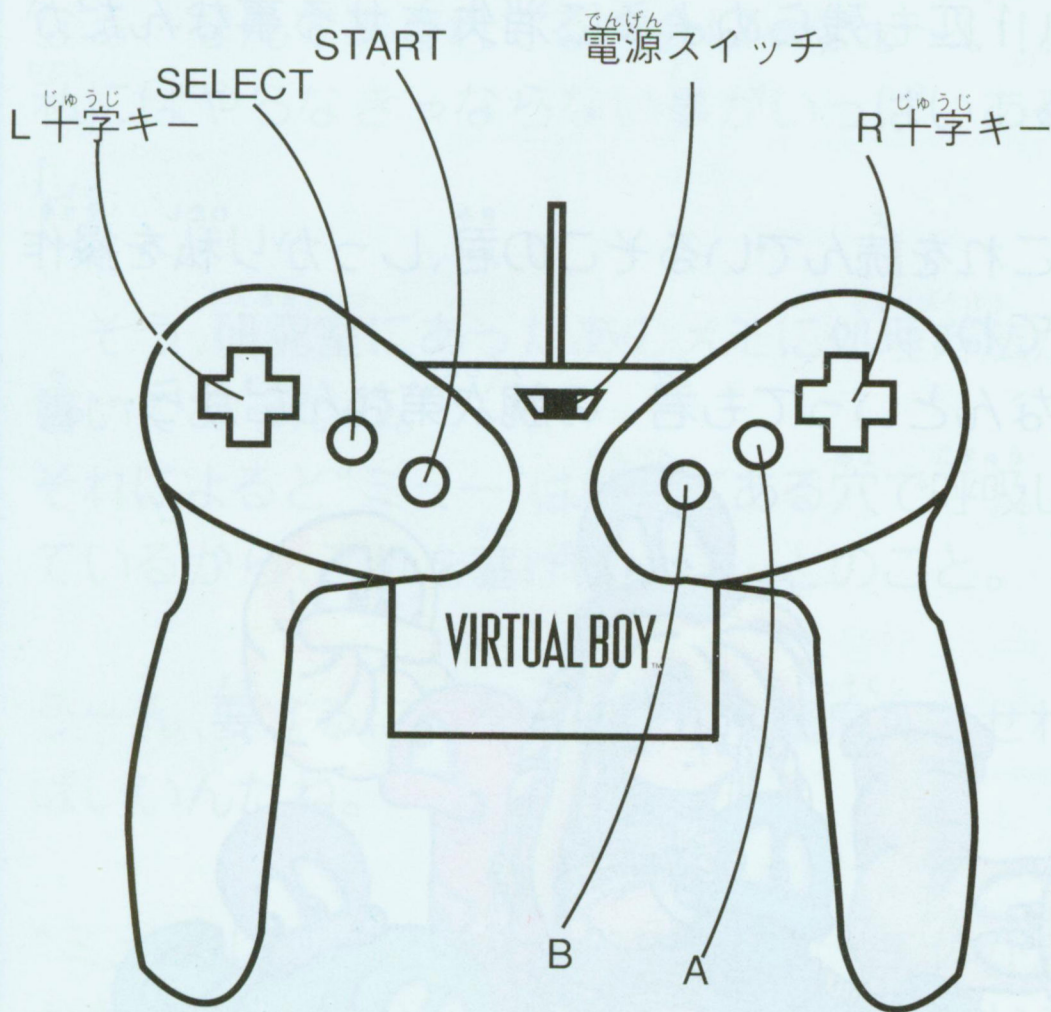
だって目的はたくさんの“ミュウ”を同時に消して、1匹も残らぬように消失させる事なんだから。

…これを読んでいるその君、しっかり私を操作してね。

なんといっても君の腕次第なんだから…。



コントローラー せつめい
CONTROLLER の説明



START : ゲームスタート
ポーズ

SELECT : せんたく けってい
選択の決定

A : らっか とけい まわ かいてん
落下パネルの時計回り回転

B : ふくすう いち か
複数パネルの位置替え

じゅうじ さゆう さゆう いどう
十字キー左右： パネルの左右移動

じゅうじ した らっか かそく
十字キー下： パネルの落下加速

タイトル画面^{がめん}

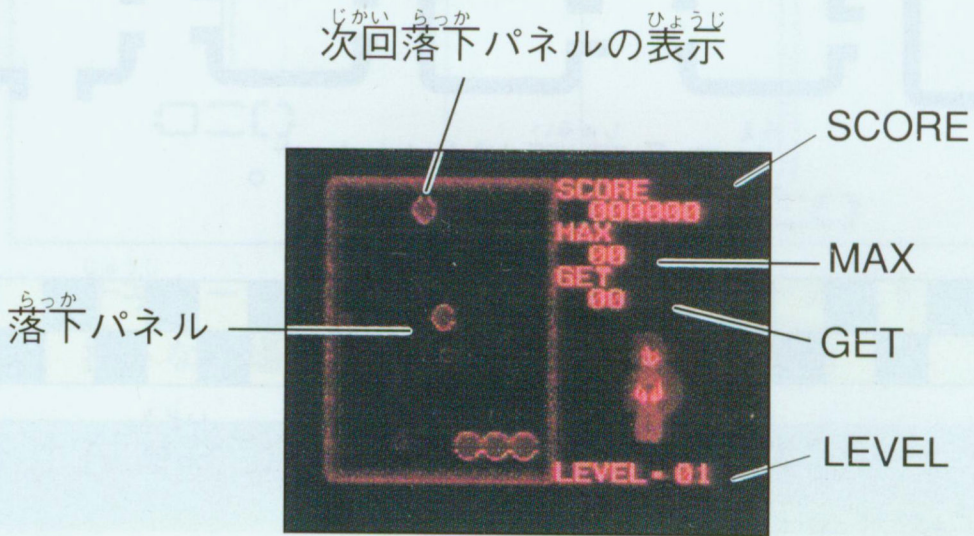


ここで、^{らっか}落下^{そくど}速度^{せってい}の設定^せを^しま^す。

LOW (^{おそ}遅い) · MID (^{ふつう}普通) · HI (^{はや}速い)

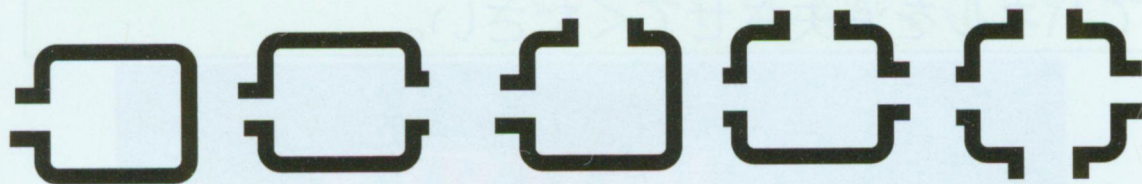
PLAY 画面の説明

画面の上から落下してくるパネルをつなぎあわせてパネルを消失させてください。



SCORE	スコア
MAX	同時消失パネル数の最高記録 (ゲームオーバーで抹消)
GET	直前の同時消失パネル数 (次の反応で更新)
LEVEL	現在のレベル
落下速度	(LOW、MID、HIの3段階)

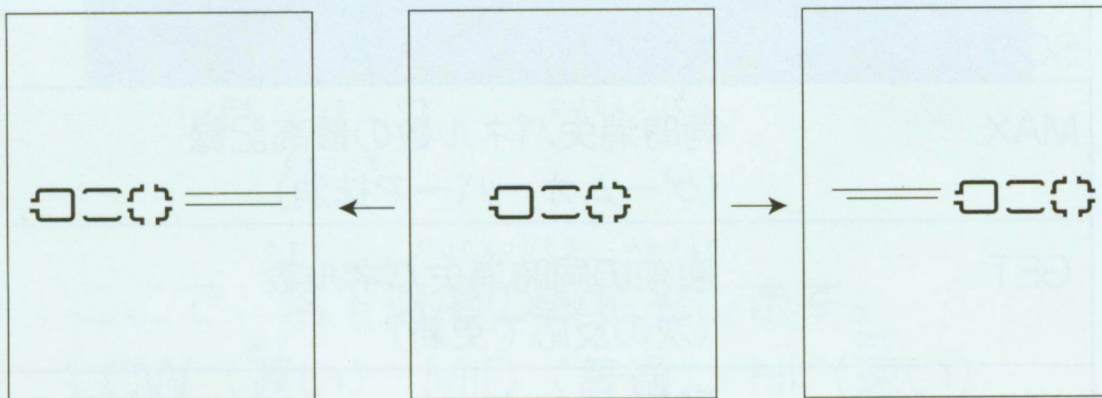
パネルの種類 しゅるい



うえ しゅるい
上の5種類があります。

操作方法 そうさ ほうほう

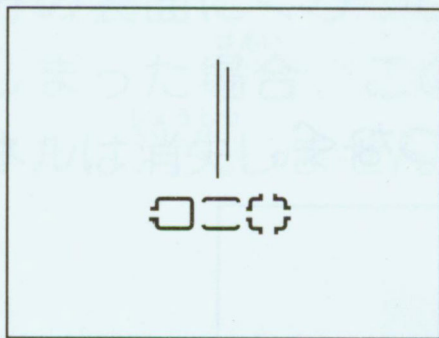
じゅうじ さゆう 十字キーの左右で、パネルを左右に移動させる
ことができます。



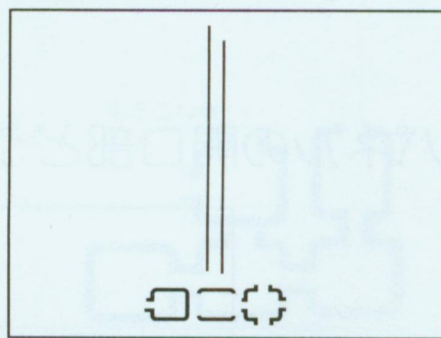
じゅうじ ひだり
十字キーの左で
ひだり 左へ移動

じゅうじ みぎ
十字キーの右で
みぎ 右へ移動

じゅうじ した そくど はや
十字キーの下でパネルの速度を速めることができます。



じゅうじ した
 十字キーの下を
 おさない場合



じゅうじ した
 十字キーの下を
 おした場合

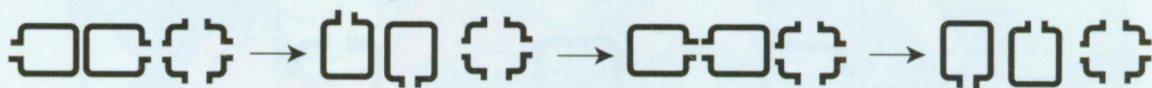
お いち か
Bボタンを押すと、パネルの位置が変わります。



お
 B を押す。

お
 B を押す。

お かいてん
Aボタンを押すとパネルが回転します。



お
 A を押す。

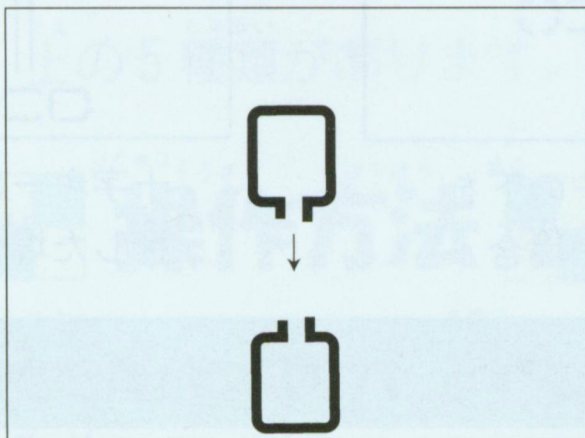
お
 A を押す。

お
 A を押す。

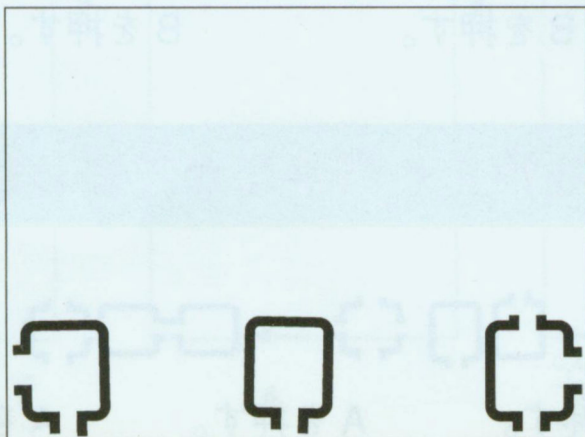
パネルの消し方

パネルの開口部^{かいこうぶ}をすべてふさぐと、パネルは消失^{しょうしつ}します。パネルの塞ぎ方^{ふさかた}は2通り^{とう}あります。

①パネルの開口部^{かいこうぶ}どうしをつなぐ。

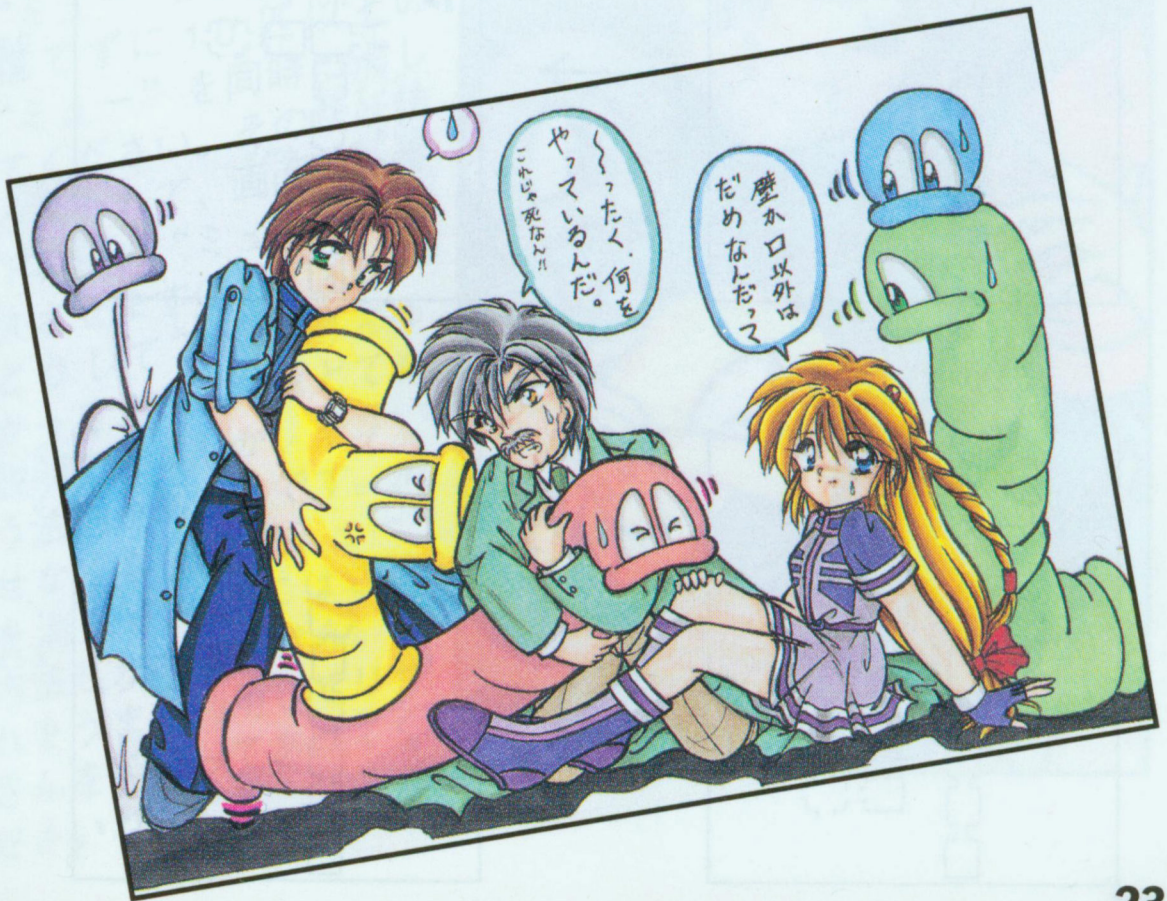
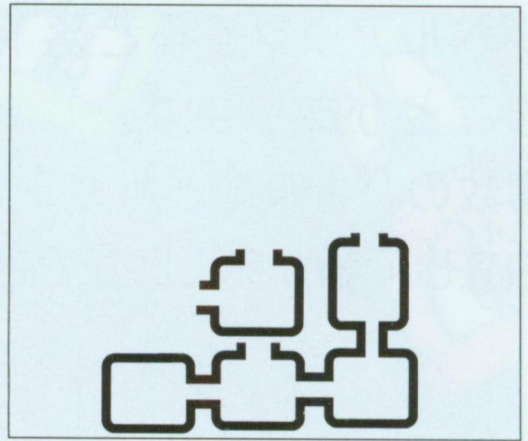


②パネルの開口部^{かいこうぶ}を床^{ゆか}や壁^{かべ}につけます。



※このような場合、^{ばあい}消失^{しょうしつ}しません。

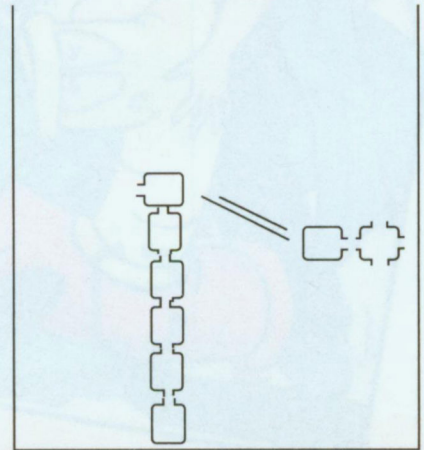
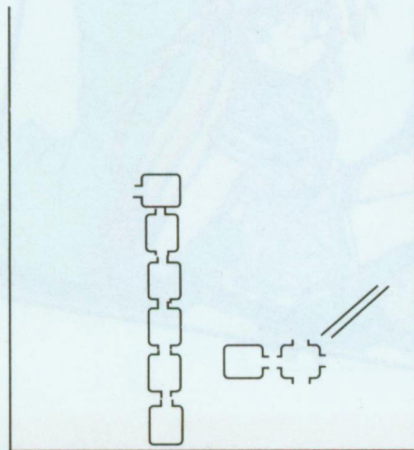
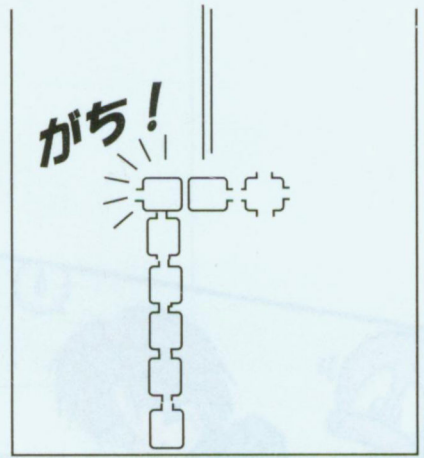
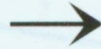
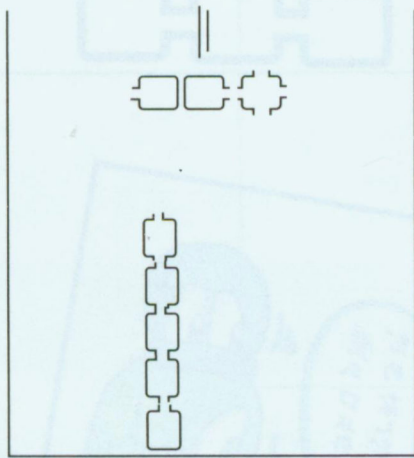
パネルの開口部が、自
分の表面にくっついて
しまった場合、このパ
ネルは消失しません。



複数ふくすうのパネルについて

レベルアップすると落下してくるパネルが複数ふくすうになることがあります。

複数ふくすうのパネルのどれか1つが着地ちやくちすると他のパネルは独立どくりつして動かうごかすことができるようになります。



こ いじょう どうじ け ばあい
10個以上同時に消した場合

どうも、^{かい}甲斐です。

プレイ前に1つ^{おし}教えたい
 ことが...。きつと^た役に立つ
 と思います。もし^ま操作を間違え
 たりして消せなくなったら、
 “ミュー”が出てきたら、
 慌てずに10匹^{びき}以上の^{いじょう}の
 “ミュー”を同時に^{じゆう}消し
 てください。その後^あ妖精^{せい}
 が^{あら}現われて、画面^{がめん}の^{いっ}番^{ばん}
 下の^{した}段の“ミュー”を消
 失させますので。えっ？
 どうして^{ただ}だけ消えるも
 かって？^{ここ}ではとてい
 説明^{せつめい}できませが、^{そう}い
 う^{ほう}法^{ぽう}則^{そく}があるんです。消
 せなくなつた“ミュー”
 を^し消^{しょう}失^{しつ}させるにはこの
 方法^{ほうぽう}しかありません。こ
 れを^うま^まく^り利^り用^{よう}してリサ
 さんを^て手^て伝^{でん}つてあげてく
 ださいね。



れんさ はんのう 連鎖反応

● 上に乗っているパネルは下のパネルが消失すると重力の法則で落下します。そして、落下後開口部が地面にくっついたり、他のパネルの口を塞いだりすることがあります。そしてすべての口が塞がればそのパネル群も消失します。

● 場合によっては、2度、3度の連鎖反応を作ることにも可能です。

…それはあなたの腕しだい！！

レベルアップ

- 画面のパネルを全部消すと、そのレベルがクリアされたこととなります。そして、次のレベルに上がります。
- レベルアップは、同時に消去したパネルの数によって上がり方が変わります。

MAX20 未満：	1レベルのアップ
MAX20～29：	2レベルのアップ
MAX30～39：	3レベルのアップ
MAX40～49：	4レベルのアップ
- 場合によっては、一番初めのステージで、1つのパネルを処理しただけで、レベルアップになることもあります。

…それはあなたの運しだい！！

ゲームオーバー

- ^{がめん}画面のパネルが上まで積み上がったたら、ゲームオーバーです。
次のトライをお^ま待ちしています。
- レベルアップ^じ時の休憩^{きゅうけい}タイムは、^{さいだいげん}最大限^{りよう}利用したほうが、^{こうとくてん}高得点にもつながりますよ。



ゲームオーバー

ははは...

それでも親ですか。

娘よ...
まだまだ青いな

かんぜん
完全にミューを^{げきたい}撃退できるかー?!
Good Luck!!



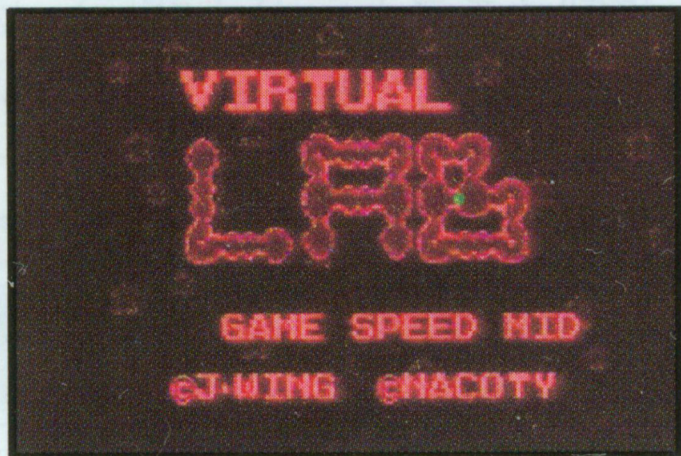
みなさま ユーザーの皆様へ

●このソフトウェアと取扱説明書は、株式会社
J・ウイングの著作物です。その一部または
全部を、株式会社J・ウイングの許諾なく、
複製、複製すること、およびレンタル業、も
しくはそれに類似する行為に使用することは、
法律（著作権法など）で禁止されています。

●ゲーム内容などに関するご質問、攻略法など
については、誠に勝手ながらお答えできませ
んのでご了承ください。

●製品には万全を期しておりますが、万一
株式会社J・ウイングの責に帰する不都合が
生じましたら、ご面倒とは思いますが、
「株式会社J・ウイング ユーザーサポー係」
までご連絡くださいますようお願い申し上げ
ます。

VIRTUAL LAB



VIRTUAL BOY™・バーチャルボーイ™ は任天堂の商標です。

FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY AND COMMERCIAL RENTAL PROHIBITED.

本品は日本国内だけの販売および使用とし、
また商業目的の賃貸は禁止されています。



株式会社 J・ウイング

〒115 東京都北区赤羽 1-60-1 グランデール 202